

■意外な伏兵『日焼け』■

さて今日はコミケ当日早朝、天気は快晴。「ヨッシャ！」とバッグから傘を放り出して意気揚揚いざ出陣!!
……ところが行列の間中に焼かれて腕も肩も顔も真っ赤っか、バッグのストラップが擦れて痛くて痛くて……。
なんて事態は避けたいもの。日焼けは特に夏コミでは意外に見落とされがちなアクシデントだ。
降ったら降った、晴れたら晴れたで対策が必要なのがコミケという場所だと認識しておこう。

多くの女性にとって日焼け止めは夏の必須アイテムだが、今回特に注意を喚起したいのはこれまで日焼け止めなんて使ったこともないよという男性参加者と、若年層の参加者だ。

一般に女性よりも強靱と言われる男性の皮膚であっても、日焼けに対する耐性には大差はない。一般的に女性よりも軽装で行動することが多く、かつバックパック類を携行することが多い男性陣や、最近急増中の高校生やそれ以下の年齢の参加者は対策が十分ではなく、救護室に駆けこんでくるケースが増加している。

入場待ち行列だけでなく、大手サークル、企業、もちろんコスプレも、配置場所によってはサークルでまで、コミケ中日焼けしてしまう状況は少なくない。

今や日焼け対策は年齢・性別を問わない対策必須事項になっているのだ。

●本当は恐ろしい日焼け

日焼けの症状として最もポピュラーなのは皮膚が赤くなってヒリヒリ痛むというものだが、このとき、その部分の皮膚は火傷と同じ状態になっている。当然、ダメージも受けやすく、バッグやバックパックのストラップが肩や腕の日焼け部分をこすると、痛くて行動を妨げられるだけでなく、その部分の皮膚が炎症を起こして腫れたり、水ぶくれや皮剥けといった二次ダメージを引き起こす可能性も高く、最悪傷跡が残ってしまうケースもある。

直射日光が皮膚に当たると、体温が急激に上昇しやすく、また、一気に日焼け状態になった皮膚は発汗作用が阻害されるために、身体全体の体温調整能力が大きく低下してしまってコンボで熱中症の原因となる。

日頃から日差しに慣れていない肌が急に強い日光を浴びると蕁麻疹(じんましん)状に腫れて激しいかゆみを起こす場合もあり、たかが日焼けとあなどっていると、ひどい目に遭うのだ。



●準備と対策

服装や性別に関係なく、日焼け止めは必携!!

ウエットティッシュタイプで汗拭きにも使えるものが携帯性も高くオススメです。

また、薄手で風通しの良い上着や大判のタオルなどを用意し、待機時間中などもよく注意し、肌に直射日光を当てないようにすることも大切だ。

コミケ以前に少し屋外を歩き、日差しや気温に慣れておくようにするとよいだろう。

●持って行くならコレ! 『キズパワーパッド』 & 『クイックヘルプ』 ●

このコーナーでもコミケに持っていく物リストの中に必ず含めているばんそうこう。どうせなら高性能ものがいいというが●ダム主義者のアナタにオススメなのが、最近発売されている通称『次世代ばんそうこう』。

発売元は『バンドエイド』でお馴染みジョンソン エンド ジョンソン社。

つまり今回紹介する2種類もバンドエイドシリーズの新顔というわけだ。

まだ少々値段が張るが、効果は非常に高いので、もしもに備えて用意しておいては?

【BAND-AID キズパワーパッド】

その名も『新・救急医療用具』と、これだけでも従来の『救急ばんそうこう』とは違うと主張しているが、外見も実にS F的で、一見するとこれがばんそうこうであるとは分からないほどだ。

傷口をぴったりと覆って身体が傷を治そうとする力をサポートするという従来にないコンセプトで造られ、「傷が早く治る」「痛みが少ない」「キズあとを残しにくい」「長い時間貼りっぱなしでよい」といった特長を持っていて、皮が剥けてしまったような傷や擦り傷には特にオススメ。

ただし、貼る前によく患部を水で洗い、清潔にしておく必要がある。

全く今までのばんそうこうと違うので、購入したらよくよく説明書を熟読しよう。



【BAND-AID クイックヘルプ】

こちらは外見的にはお馴染みのばんそうこう。しかし傷に当たるガーゼに血液を固めて出血を素早く止める効果のある薬剤が染み込ませてあるので特に切り傷系に大きな効果を発揮する。